

令和 4 年度 循環器病県民啓発事業 について

1

事業概要①

1 実施目的

・ 循環器病は急激に発症し、数分から数時間の単位で生命に関わる重大な事態に陥ることも多いが、発症後早急に適切な治療を行うことで、予後の改善につながる可能性があることから、発症後に早期搬送ができるよう、症状の典型例などを周知することにより、広く一般県民に周知を図る必要がある。

また、発症後の患者支援については、主に慢性期における医療、介護及び福祉に係るサービスに関することまで多岐にわたり、患者と家族が、その地域において、医療、介護及び福祉サービスに係る必要な情報にアクセスでき、課題の解決につながるよう取組を進めることが求められていることから、必要な情報を取りまとめ適切に対応できる様に啓発冊子を作る必要がある。

2

事業概要②

2 想定啓発内容

(1) 一般県民向け啓発事業

- ・概要 脳卒中や心疾患の初期症状や発症後の適切な行動を促すための啓発物品を作成
- ・想定形態：リーフレット（A4両面）
- ・作成枚数（想定）：5,000枚
- ・配布先（想定）：各市町村・保健所等の公共機関
各病院等の医療機関

事業概要②

2 想定啓発内容

(1) 一般県民向け啓発事業

○記載項目（案）

- ・循環器病が一刻を争う病気との説明
- ・「FAST」に関すること
- ・心疾患の初期症状と対応に関すること
（近日中に受診するのか救急車を呼ぶのか等）
- ・相談窓口の案内（救急安心相談窓口等）

事業概要③

(2) 患者向け冊子の作成

① 脳卒中患者に向けた患者支援冊子

- ・概要 脳卒中の診断を受けた方に対して、各疾患の症状の経過を纏める他、療養生活や復職等に必要の情報、県内の関係病院の特徴や患者支援に取り組んでいる病院一覧等について取りまとめる。
- ・想定形態：冊子（両面60ページ程度）
- ・作成枚数（想定）：2, 500冊
- ・配布先（想定）：脳卒中对応病院等の医療機関

事業概要③

① 脳卒中患者に向けた患者支援冊子

○記載項目（案）

- ・脳卒中の症状や経過
- ・入院時（急性期）に取り組むべきこと、確認するべきこと
- ・症状が安定する退院前に取り組むべきこと
- ・急性期病院と回復期リハ病棟等の役割の違い
- ・治療やリハビリ目的にあった千葉県内の医療機関について

事業概要④

(2) 患者向け冊子の作成

② 心疾患患者に向けた患者支援冊子

- ・概要 心疾患の診断を受けた方に対して、各疾患の症状の経過を纏める他、心臓リハビリに関する情報や、再発予防に関する生活習慣に関する情報、セルフコントロールを助ける情報について取りまとめる。
- ・想定形態：冊子（両面60ページ程度）
- ・作成枚数（想定）：5, 000冊
- ・配布先（想定）：心疾患対応病院等の医療機関

7

事業概要④

② 心疾患患者に向けた患者支援冊子

○記載項目（案）

- ・心疾患の症状や経過
- ・発症後の自宅での生活に当たって気にすべきこと
- ・再発する要因について
- ・セルフコントロールの方法について
- ・毎日の体調の記録（体重、血圧、脈拍、自覚症状等）
（半年分）

8